

1. 概要

令和4年度に引き続き、路上駐車帯にパークレットを設置し道路空間利活用の可能性を探る。

除雪の関係上冬季の撤去が必要であり、令和4年度と比較し簡易かつ移設可能な構造とした。

○実施日時

- ・令和4年9月13日（水）～11月30日（木）
- ・期間中常設

○設置区間・場所

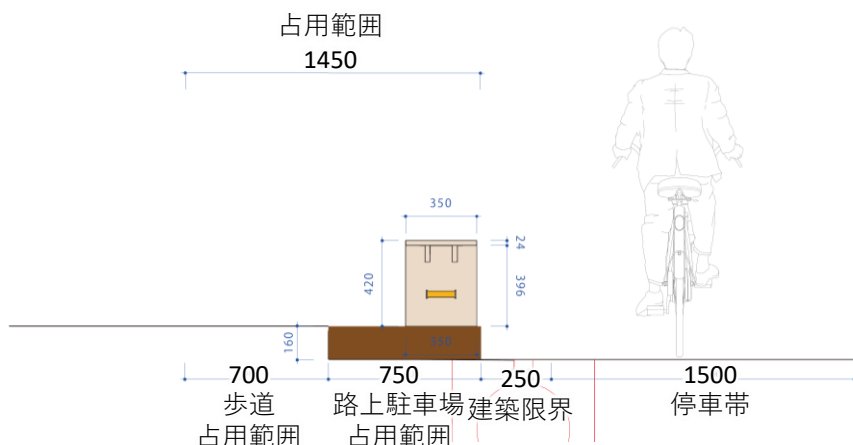
- ・ホテルクラウンヒルズ前
- ・シャンティ・じゃいあん前の2箇所



2. パークレットの構造

路上駐車場の活用可能範囲は、令和4年度と同様、駐車帯W=1.5mの確保が必須となり、歩道の建築限界W=0.25mを侵さないW=0.75m分となった。

これに、歩道の有効幅員外となるW=0.7m分を加えたW=1.45mが、パークレットの設置範囲とした。



3. 滞在行動調査

滞在行動調査日時

10月23日（月）、11月11日（土）

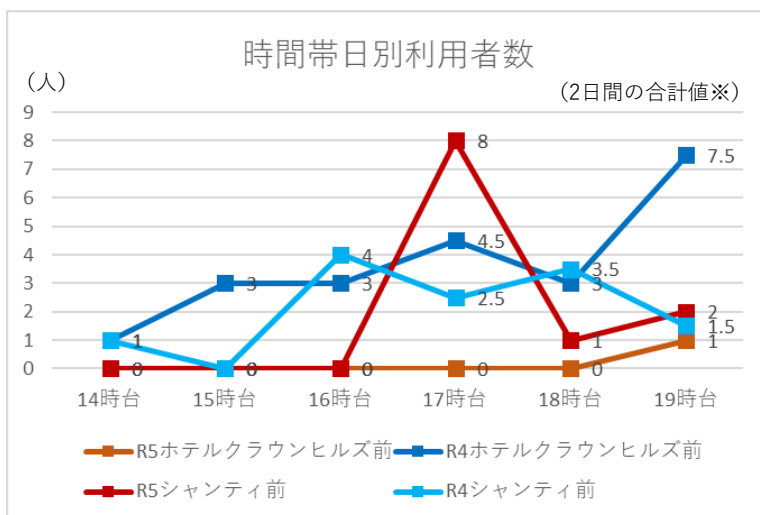
通常時

○ホテルクラウンヒルズ前

- ・10月23日（月）に1名の滞在を確認した。
- ・11月11日（土）では滞在者を確認できなかった。

○シャンティ・じゃいあん前

- ・10月23日（月）では滞在者を確認できなかった。
- ・11月11日（土）では11名の滞在を確認できた。
- ・滞在者は17時までは0名と、夜間の滞在者が中心だった。

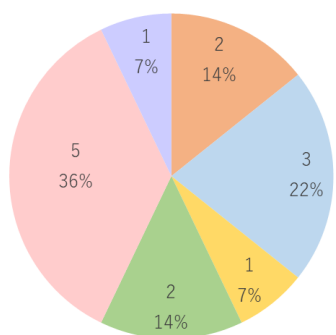


(※令和4年度は、4日間調査の合計値を2日分に案分した値)

4. ビジターアンケート調査（令和4、5年度の比較）

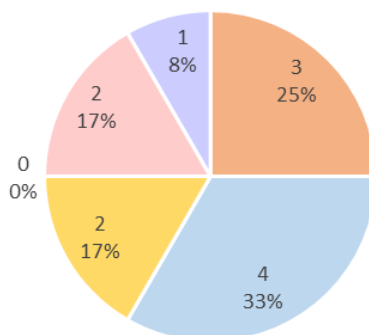
○利用した理由

R4（N=13,無回答2）



- ランニング・散歩休憩
- 飲食
- 霧囲気が良さそうだったから

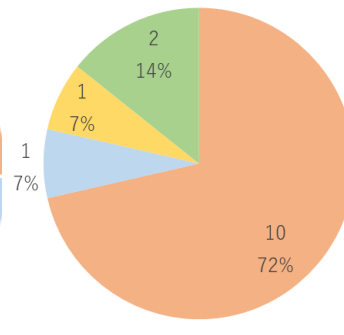
R5（N=12,無回答1）



- 買い物休憩
- 待ち合わせ
- その他

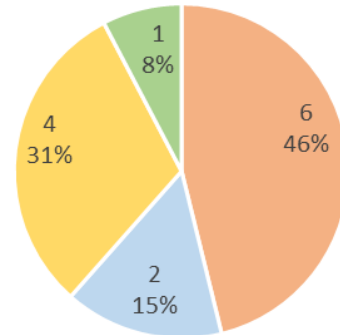
○自動車の印象

R4（N=14,無回答1）



- 特に気にならない
- 圧迫感を感じた

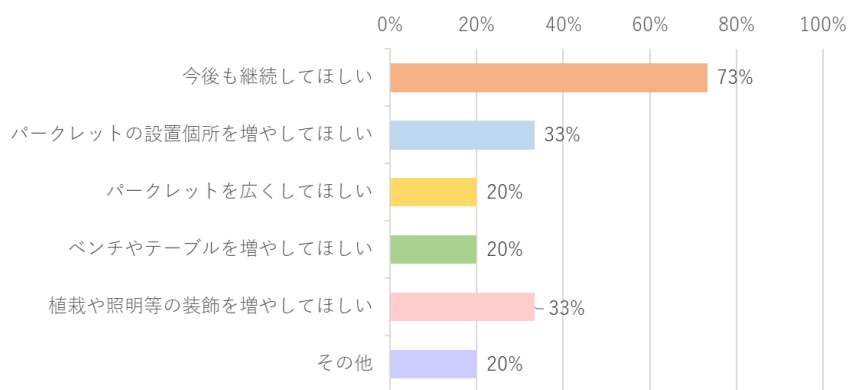
R5（N=13）



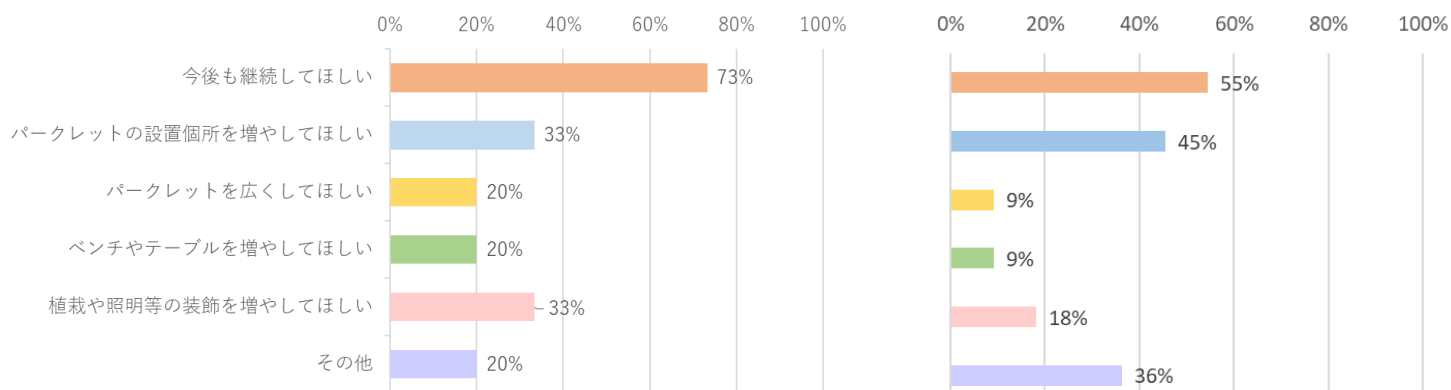
- 安全面に不安を感じた
- その他

○今後期待すること

R4



R5



5. 得られた知見と今後の方向性及び課題

○得られた知見

- ・設置可能範囲は路上駐車場のW=0.75に限定され、確保可能な幅員は路上駐車場が整備されていない歩道の一般部と同等である。
- ・パークレットは休憩場所や待ち合わせ場所等として、短時間の滞在空間として機能した。
- ・一方で、一定時間の滞在場所としての活用は少なかった。
- ・アンケートでは、今後期待することとして各パークレットの質を高めることよりも箇所数を増やすことを求める意見が多い。
- ・壁面のないパークレットの場合は、「自動車の印象」で特に気にならないが半数を下回った。

○今後の方向性

- ・パークレットは短時間利用中心で、今後の継続や箇所数増への要望が高いこと、歩道以上の幅員を確保することが困難なことから、すずらん通り内の歩道に什器やプランターを設置する等により、安価でより簡単に道路空間の利活用を図ることを目指す。
- ・商店街主体で実施している一時的な歩行者天国の継続・強化により、時間によって利活用方法が変化する街路空間創出を目指す。

○今後の取組に向けた課題

- ・商店街による取組の継続に向けた、担い手の育成・確保
- ・商店街と東北芸術工科大学の協創による芸術祭開催等の協働体制構築